

審査員賞

小学生部門

京都市中京区

京都市立高倉小学校4年

松田 陸

## 一つになれた言葉

ぼくは、京都市で行われたきおん祭の後祭の子どもみこしに参加しました。

おみこしをかつぐ前、とてもきんちようしていました。けれど、ぼくは後半になると

「ワッショイ！」

と、声をはり上げられるようになりました。これには、三つの理由がありました。

一つ目は、「一体感」です。みんなといっしょの言葉でいっしょに声を出すと、みんなと一つになれて、はずかしさや、きんちようも、スツと飛んで行きます。また、かついでいる人だけでなくかん客もいっしょになれた気がしました。そして、コミュニケーションもよりとれたと思いました。

二つ目は、「元気」です。最初は小声でも、言うだけでも元気がでて、自信ももって大きい声が出せます。それに加えて、元気が出るので力がわいてきます。このことよって力がつき最後まで必死でがんばれます。最後の方は、三十八度にも気温が上がり、と中で熱中しようでぬける友達もいました。その時ぼくも、あせがふき出しくるしくなりました。そうなくても、「ワッショイ」のかけ声でぼくは元気ができました。

そして、三つ目は「もり上がり」です。お祭りには、もり上げるためのかけ声がないのはならないものです。ゴールに近づくにつれて、ぼくも友だちも必死になっていきました。そして、ゴールが見えたらいっせいにどわーっともり上がりました。かついでいるぼくも、かん客も一つになったしゅんかんでした。

このように、三つの理由で声をはり上げることができて、言葉の力を感じた一日でした。また、「ワッショイ」とはきんちようがスツと飛んで元気もでる。さらにもり上がって一つになれる最高の言葉だと初めて知りました。また、ワッショイの語源を調べてみたら「和を背負う」だと知り、日本語（言葉）の美しさというものを知りました。